

3 指導計画の作成と内容の取扱い

(1) 小学校

ア 指導計画の作成

- 指導計画の作成に当たっては、次の事項に配慮する。〔学習指導要領解説 P54〕
 - ◇ 題材の構成に当たっては、児童の実態を的確にとらえるとともに、内容相互の関連を図り、指導の効果を高めるようにすること。
 - ◇ 内容Aの(1)ア 成長の自覚、家庭生活と家族の大切さについては、第4学年までの学習を踏まえ、2学年間の学習の見通しを立てさせるために、第5学年の最初に履修させるとともに、内容AからDまでの学習と関連させるようにすること。
 - ◇ Bの(3)及びCの(3)については、2学年にわたって取り扱い、平易なものから段階的に学習できるよう計画すること。
 - ◇ 道德教育の目標に基づき、道德の時間などとの関連を考慮しながら、家庭科の特質に応じて適切な指導をすること。

題材とは、目標の実現を目指して、各項目に示される指導内容を指導単位にまとめて組織したもの

- 題材の構成 〔学習指導要領解説 P55〕
 - ◇ 題材の構成に当たっては、関連する内容を続けて学習したり、関連する内容を組み合わせたりするなどして、効果的な学習指導が進められるように工夫する。
 - ◇ 家庭生活は総合的なものであり、児童の家庭生活に対する意識は、衣、食、住を分化してとらえているわけではないので、AからDの各内容項目間の関連に着目した視点で題材を構成する工夫も考えられる。
 - ◇ 実践的・体験的な活動をより一層充実させるためにも、各題材に適切な時間を配分するように留意する。学校や児童の実態を考慮し、教科のねらいを踏まえて適切な授業時数を割り振る。

- 道德の時間などとの関連 〔学習指導要領解説 P56〕
 - ◇ 道德教育の目標に基づき、道德の時間などとの関連を考慮しながら、家庭科の特質に応じて適切な指導をすること。
 - ◇ 学習活動や学習態度への配慮、教師の態度や行動による感化を意識する。
 - ◇ 家庭科の目標と道德教育との関連を明確にする。
 - 「日常生活に必要な知識や技能を身に付け、生活をよりよくしようとする態度を育てる。」
 - 生活習慣の大切さを知り、自分の生活を見直す。
 - 「家庭生活を大切にす心情をはぐくむ」
 - 家族を敬愛し、楽しい家庭をつくり、家族の役に立つことをしようとする。
 - ◇ 家庭科で扱った内容や教材の中で適切なものを道德の時間に活用

イ 内容の取扱い

○ 家庭との連携 [学習指導要領解説 P60]

◇家庭との連携を図り，児童が身に付けた知識及び技能などを日常生活に活用するよう配慮するものとする。

○ 実習の指導について [学習指導要領解説 P58～60]

- (1) 服装を整え，用具の手入れや保管を適切に行うこと。
- (2) 事故の防止に留意して，熱源や用具，機械などを取り扱うこと。
- (3) 調理に用いる食品については，生の魚や肉は扱わないなど，安全・衛生に留意すること。

○ 言語活動の充実 [学習指導要領解説 P61～62]

◇衣食住など生活の中の様々な言葉を実感を伴って理解する学習活動や，自分の生活における課題を解決するために言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり，説明したりするなどの学習活動が充実するよう配慮するものとする。

※家庭科における「言語活動の充実」のとらえ

○ 知識・技能の活用など思考力・判断力・表現力等を育む学習活動の充実

- (1) 体験から感じ取ったことを表現する。
 - ・言葉や作品で表現する
- (2) 事実を正確に理解し伝達する。
 - ・観察の結果を記述・報告する
- (3) 概念・法則・意図などを解釈し、説明したり活用したりする。
 - ・衣食住や健康・安全などに関する知識を活用して自分の生活を管理する
- (4) 情報を分析・評価し、論述する。
 - ・生活情報などを調べ、分析し、根拠に基づき説明する
- (5) 課題について、構想を立て実践し、評価・改善する。
 - ・ものづくりなどにおいて構想をねり、創作活動を行い、その結果を評価し、工夫・改善する
- (6) 互いの考えを伝え合い、自らの考えや集団の考えを発展させる。
 - ・健康、快適な生活の方法を伝え、考えを深める

学習指導要領

各内容の指導に当たっては、衣食住など生活の中の様々な言葉を実感を伴って理解する学習活動や、自分の生活における課題を解決するために言葉や図表などを用いて生活をよりよくする方法を考えたり、説明したりするなどの学習活動が充実するよう配慮するものとする。

製作や調理などにおける体験を通して生活の中の様々な言葉を実感を伴って理解するような学習活動の充実

例えば…

- ・調理実験の結果を正確に記述し考察する。
- ・調理がうまくいった理由やそうでなかった理由を食品の調理上の性質を基に考え発表する。
- ・日常着の手入れをする活動の後に、体験から感じ取ったことをまとめて考察し、発表する。
…等の学習活動を充実させる。

体験したことが実感を伴う理解となる。

言葉や図表、概念などを用いて、自分の課題に基づき生活をよりよくする方法を考えたり、実習などで体験したことを説明したり、表現したり、話し合ったりする学習活動の充実

例えば…

- ・食事や住まいの振り返りなどから
問題点や改善点などを考える場面、
課題解決のために計画を立てる場面、
解決したことをまとめ、発表する場面で、
献立表や室内の清掃方法などについて、図表を用いて自分の考えを発表する。
…等の学習活動を充実させる。

【参 考】「言語活動の充実に関する指導事例集～思考力、判断力、表現力の育成に向けて～
小学校版 平成 22 年 12 月 文部科学省」

http://www.mext.go.jp/a_menu/shotou/new-cs/genngo/1301088.htm